

高齢者・障がい者施設のみなさまへ

いつも大変お世話になり、誠にありがとうございます。

ご承知のように岐阜県でもついに院内感染、高齢者施設内感染が現実のものになり、しかもこの1週間で、同時多発的に県内複数の施設で火の手があがっております。我々医療従事者・施設従事者にとっては、まさに緊急・非常事態とあってよい深刻な状況と受け止めなければなりません。

各施設では、今までも万全の対策をとられていたとは思いますが、以下の点を今一度施設長様をはじめ、関係者で広く周知いただき、これ以上の拡大を阻止すべく、全施設一丸となって対応いたしましょう。

① 施設職員がきっかけで感染が広がるケースも目立ちます。職員は業務上リスクがあるということで、感染予防策をしっかりとしているとは思いますが、施設外の日常生活、とくに飲食を伴った長時間の会話によりウイルスに感染し、さらに体調不良となってからも勤務を続けていたために感染拡大するケースが複数見られます。

今一度職員およびそのご家族の日常生活において、気が緩まないように周知徹底いただきたいですし、また人員不足の中ではありますが、体調不良の際には適切に休み、診療を受けていただきますよう、そういうことが体調不良者にとってストレスなく行われるような雰囲気づくりをよろしくお願いいたします。

② 施設内に来られるすべての利用者さん、面会者のスクリーニング（体温）は行われていると思いますが、体温に加え、症状チェックのチェックシートの毎回の提出など工夫していただき、施設にとっての水際作戦を強化してください。24 時間体制での施設内入り口でのチェック体制を整えていただくのがよいと思います。今は有事とあってよい状況ですので、施設ではすべてのスタッフも動員して、体制確保をお願いいたします。

③ また、施設内でもしコロナ陽性とわかった場合でも、結果的に感染拡大させないような平素の感染対策（新しい標準予防策であるマスクの常用、手指衛生の強化）などを、今一度すべての職員が遵守できているか点検・強化願います。重要なことは、コロナ関連の方の担当職員のみならず、その他の職員様にもご理解・協力いただき、施設一丸となって対応することです。コロナ担当職員も担当しない職員に敬意を払い、また担当しない職員も同様に担当職員の業務に敬意を払って、お互いのコミュニケーションを大切に、情報共有して頑張りましょう。

④ 利用者さんは必ずしも全員部屋の外でマスクをしていただいただけとは限りません。特にご高齢で認知症のある方などは無理があると思います。ですから完璧にはいきませんが、それでも毎日の体調チェックを強化していただきたく思います。施設内に毎日入ってこられる

方と同様に、すべての入所者の体温と体調チェックのチェックシートを用いて確認する体制が実施できているか、今一度確認・強化してください。

⑤ デイサービスなど、施設内に来られる方が、職員同様、日常生活と施設を行ったり来たりされている方については、よりウイルスを保有して施設内を利用されるリスクが高く、結果的に施設内にウイルスを拡散させてしまうことになります。これらの利用者さんはマスクの着用が無理な方も多く、体温・体調チェックに加え、酸素飽和度なども含め、普段と違う兆候を見逃さないようにしてください。

⑥ いずれの場合も、感染者に責任や罪はありません。快癒を祈り、「お大事に」の言葉をお願いいたします。コロナハラスメントがないように、施設内での意識を高めてください。

★ このまま広がりや抑え込まれなければ、岐阜県の医療・高齢者介護福祉のシステムは崩壊します。ぜひ年末年始に向けてすべての医療者・介護福祉関係者全員の力を貸してください。どうぞよろしくお願いいたします。

ぎふ総合健診センター・所長・理事

(岐阜大学名誉教授)

(同医学部附属地域医療医学センター・特任教授)

村上啓雄